

短期NZドル債オープン（資産成長型）

追加型投信／海外／債券

第13期 2020年9月7日決算

作成対象期間（2020年3月10日～2020年9月7日）

第13期末（2020年9月7日）	
基準価額	9,536円
純資産総額	29百万円
第13期	
騰落率	+12.4%
分配金	0円

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「短期NZドル債オープン（資産成長型）」は、このたび、第13期の決算を行いました。

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/> にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



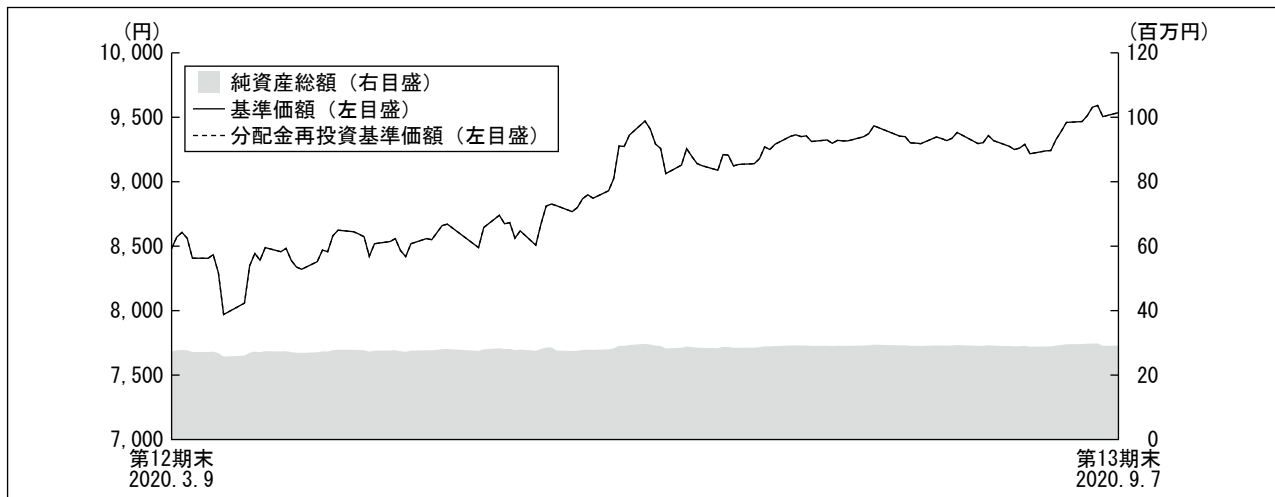
三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第13期首：8,482円

第13期末：9,536円（既払分配金 0円）

騰落率：+12.4%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

（上昇要因）

期初、新型コロナウイルス感染拡大の影響でNZドル円は下落して始まったものの、その後は新型コロナウイルスに対する過度な懸念が後退し、NZドル円も大幅に反発し、基準価額の上昇要因となりました。また、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が強力な金融緩和を行ったことでNZ国債の利回りが低下（価格は上昇）したことも基準価額の上昇要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	当期		項目の概要
	2020年3月10日～2020年9月7日		
	金額	比率	
信託報酬	55円	0.617%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,993円です。
（投信会社）	(27)	(0.301)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(27)	(0.300)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	17	0.185	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(16)	(0.178)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	72	0.802	

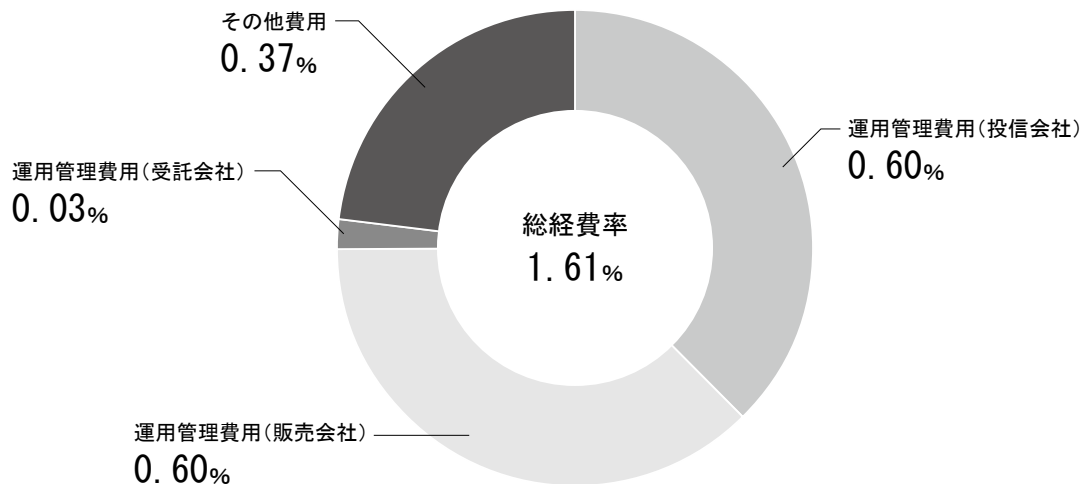
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



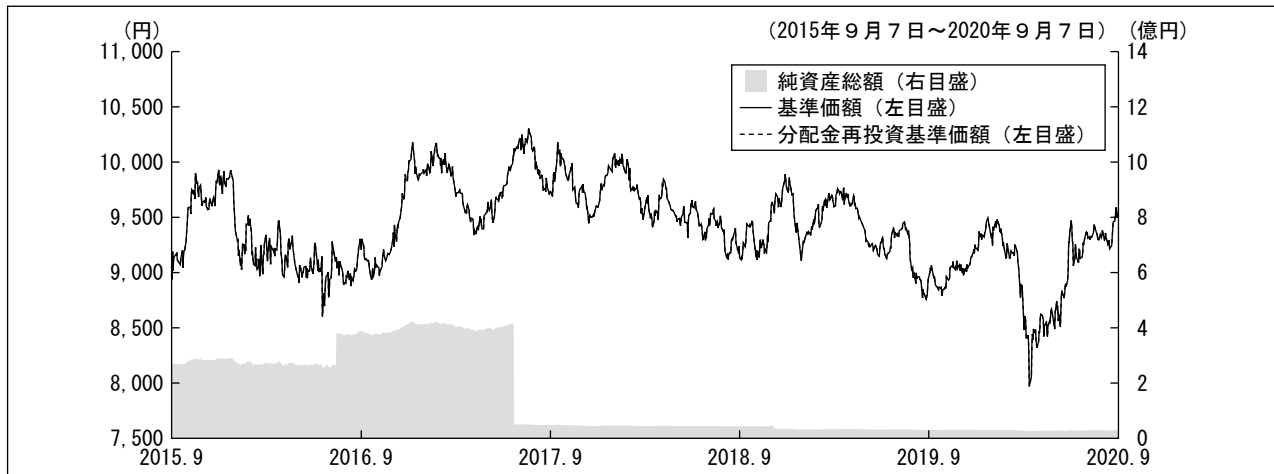
*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.61%です。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、2015年9月7日の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年9月7日 期初	2016年9月7日 決算日	2017年9月7日 決算日	2018年9月7日 決算日	2019年9月9日 決算日	2020年9月7日 決算日
基準価額 (円)	8,950	9,206	9,735	9,138	8,998	9,536
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.9	5.7	△6.1	△1.5	6.0
Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) 騰落率 (%)	—	4.0	7.1	△5.5	△2.8	5.1
純資産総額 (百万円)	263	384	47	42	30	29

*Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

●参考指数に関して

*Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算したものです。

*海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

【投資環境】

当期のNZ債券市場は、RBNZの強力な金融緩和を背景に大幅に利回りが低下（価格は上昇）しました。また、NZドル円は、新型コロナウイルスへの過度な懸念の後退から上昇しました。

期初の3月には、新型コロナウイルスの感染者が世界的に急増し、各国が都市封鎖や外出制限などの対策を行ったことで、景気減速懸念が高まりました。質への逃避の動きから現金需要が急激に高まり、NZ国債は一時大幅に利回りが上昇（価格は低下）する場面もありました。その後、3月末にかけてはRBNZが利下げおよび量的緩和の導入を決定したことで債券市場は落ち着きを取り戻し、その後もRBNZがハト派的な姿勢を継続したことで低下基調をたどりました。

NZドル円相場についても、3月の質への逃避の動きでは一時的に大幅に下落したものの、その後は各国の財政政策や中央銀行の強力な金融緩和、感染者数のピークアウトなどを背景にリスク志向が回復し、期首対比で大幅に上昇して期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

■短期NZドル債オープン（資産成長型）

主要投資対象である短期NZドル債マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は96.9%としました。

■短期NZドル債マザーファンド

当期の騰落率は、+13.1%となりました。

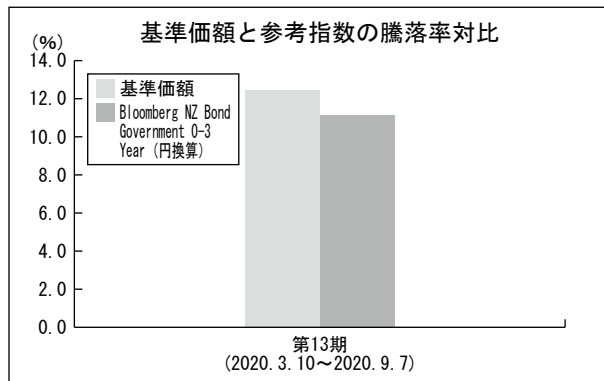
当期は、新型コロナウイルス感染拡大を背景にRBNZがハト派的な姿勢を維持したことを受け、期を通じてデュレーション*を長めでコントロールしました。

期の前半は、RBNZが利下げに加え量的緩和を導入するなど強力な緩和策を決定するなか、期首時点で長めとしていたデュレーションを維持しました。その後、3月に急落した株式市場が反発するなど金融市場が正常化に向かうなか、期中にデュレーションを小幅に引き下げた場面もあったものの、RBNZがハト派的な姿勢を維持していることを背景に、その後もデュレーションは長めの水準で維持しました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



【分配金】

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第13期	
	2020年3月10日 ~2020年9月7日	
当期分配金 (円)	0	
(対基準価額比率) (%)	0.00	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	2,008	

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■短期NZドル債オープン（資産成長型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じてニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

■短期NZドル債マザーファンド

足元では、グローバルに新型コロナウイルスへの過度な懸念が後退し、経済指標も底堅く、株式市場などリスク性資産市場も回復を見せています。一方、感染が再び拡大する可能性など、先行きには不透明感が強く、RBNZもマイナス金利を検討するなど、各国の中央銀行はハト派的な姿勢を維持しています。

不透明感の払拭には時間を要すると見られ、RBNZのハト派姿勢も長期化する可能性が高いことから、今後当面は債券のデュレーションを長めの水準でコントロールすることを基本とし、感染状況、経済指標等を見極めつつ機動的に対応する方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

お知らせ

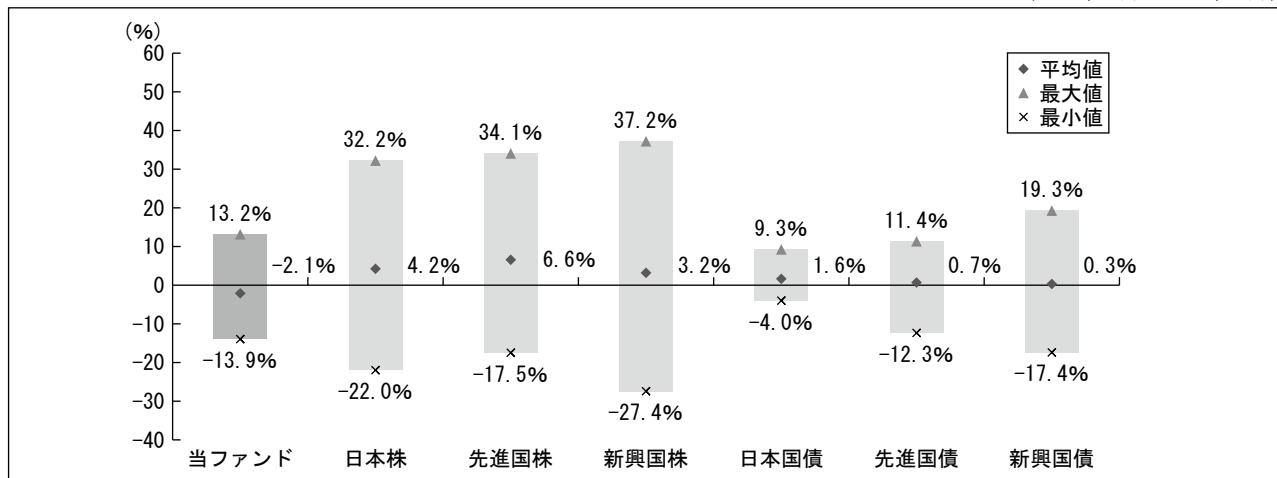
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年4月4日～2024年4月8日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	短期NZドル債マザーファンド受益証券
	短期NZドル債マザーファンド	ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運用はファミリーファンド方式で行います。 ・ファンド全体のデュレーションは、原則として3年未満とします。 ・原則として為替ヘッジは行いません。 	
分配方針	<p>毎年3月、9月の7日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

(2015年9月～2020年8月)



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

〈〈当該投資信託の組入資産の内容〉〉

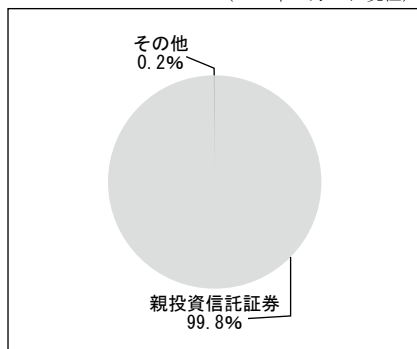
【組入ファンド】

	第13期末（2020年9月7日）
	組入比率
短期N Z ドル債マザーファンド	99.8%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

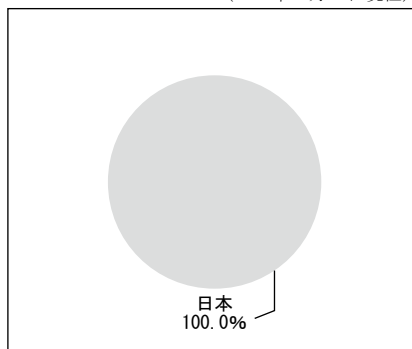
(2020年9月7日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

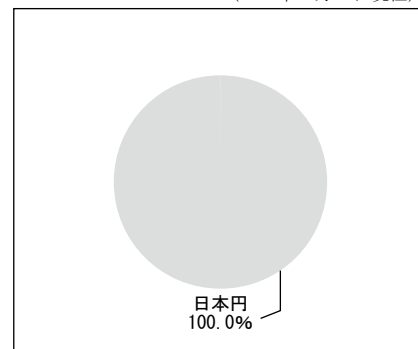
(2020年9月7日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2020年9月7日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

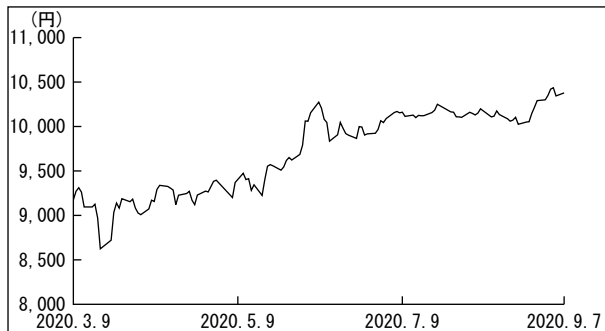
項目	当期末
	2020年9月7日
純資産総額	29,172,717円
受益権総口数	30,593,466口
1万円当り基準価額	9,536円

*当期中における追加設定元本額は226,820円、同解約元本額は1,946,393円です。

<<組入ファンドの概要>>

■短期NZドル債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当りの費用明細】

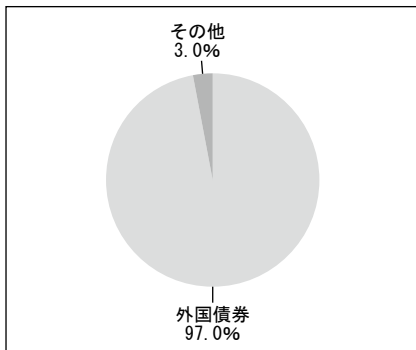
(2020年3月10日～2020年9月7日)

項目	金額
その他費用 (保管費用) (その他)	18円 (17) (0)
合計	18

*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。
 *期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 *円未満は四捨五入しています。

【資産別配分】

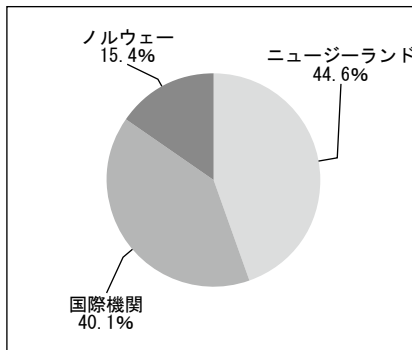
(2020年9月7日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

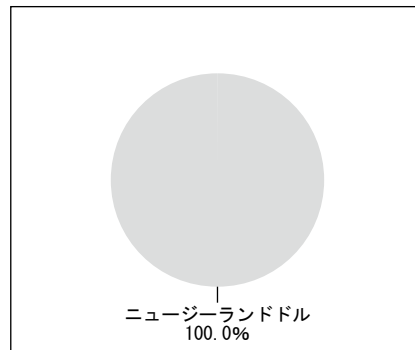
(2020年9月7日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2020年9月7日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2020年9月7日現在)

銘柄名	通貨名	比率
1 INT BK RECON & DEVELOP 2.5 01/24/24	ニュージーランドドル	15.5%
2 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 1.5 04/15/26	ニュージーランドドル	15.2%
3 KOMMUNALBANKEN AS 5.125 05/14/21	ニュージーランドドル	14.9%
4 INT BK RECON & DEVELOP 3.5 01/22/21	ニュージーランドドル	14.6%
5 NEW ZEALAND GOVERNMENT 6 05/15/21	ニュージーランドドル	12.0%
6 NORDIC INVESTMENT BANK 3.125 03/18/21	ニュージーランドドル	8.8%
7 HOUSING NEW ZEALAND LTD 3.42 10/18/28	ニュージーランドドル	6.9%
8 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 6 05/15/21	ニュージーランドドル	6.0%
9 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 1.5 04/20/29	ニュージーランドドル	3.0%

(組入銘柄数 9銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものであります。